

獨米に於ける幼稚園

女高師 榎山 榮次 教授

私は獨乙と米國に於て主として小學校の事を調べて参りましたが元來小學校の教育は幼稚園と密接の關係が御座いますので傍ら幼稚園をも覗いて見ました。併し専門とする所でもなく又經驗もなく單に窓から覗いたと云ふに過ぎませんから専門の方々に向つて御話する資格はありませんが兎に角見る丈は見つて参りましたから其見た所丈でもお紹介することに致しませう。

御承知の通り獨乙は幼稚園の開祖フレールの郷里で御座いますから幼稚園は嚙能く發達普及して居るだらうと思つて居りましたが實際に行つて見ますと是は又案外で一向徹々として振はないのであります。是が幼稚園の元祖の生れた國とは思へぬ位であります。私の知つて居る所では獨乙國中ハハリヤ即ちバイエルンを除いては他には全く公立の幼稚園を見ない位です。バイエルンのは市町村立幼稚園の一部に附屬としてあるか若しくは

私立の會合の附屬事業となつて居るのであります私の参りました伯林は首府でありますが唯僅かに十五個の幼稚園の私立幼稚園があるばかりであります。其中有名なのは伯林フレール會の幼稚園と今一つはフレール、ペスタロッツハウスト云ふ會の幼稚園とであります。此二種類のものは彼地に於ても整頓したるものであります。

私の見ましたフレール、ペスタロッツ會の幼稚園は四ヶ所にあつて一ヶ所は大概其人數が百二十人位であります。そして其處には保姆養成所、子守養成所、家事練習所(重に割烹を教ふ)幼兒預り所、等が附設してあり其他小學生に手工を教へるなど云ふこともあつて種々のものが一つ所に集められてありました。そして此一派の幼稚園の特色と云ふものは家庭主義でありまして幼稚園の様子は全く母親が家庭を居る様な風があります。従つて保姆なども國様に先生と呼ばないでクリツペンタル即ちお叔母さんと呼ばせて居ります。幼稚園の仕事は朝子供が來ると同遊嬉室に會して朝の祈禱をします。それがすむと各組

は分れて各の室に入ります。此一組と云ふのは幼
 児八名乃至三十二人位であります。此幼稚園が他
 の幼稚園と異なる所は一組の幼児が同年者でなく三
 才乃至五才のもの混じて一組として居ます。又
 り家庭の兄弟や妹姉に擬する爲めであります。又
 室も少なくて凡ての具合が家庭的で壁には額を掲
 げ窓には植木鉢を置き小鳥も飼養して普通の幼稚
 園の様に机腰掛などは置かず唯一つの卓子が置か
 れてあるばかりであります。室内では如何なる事
 をするかと云ふと子供に室内の掃除をさせ靴を磨
 かせなどして居ました。別の室に入つて見ると子
 供が鋏を持って製本の真似をして居ました。尤も鋏
 は能く切れるのは危険であると云ふので成る可く
 切れの鈍いものを持たせて居ました。尚祝祭日な
 どには子供自身に玩具を作らせて種々な遊び事な
 どをするそうですが是は私はは見ませんでしたから
 お話が出来ません。

それから庭には畑らしいものを作り花壇の様
 なものもあつて保姆と共に野菜草花を栽培したり中
 には牛などを飼養して居るのもありました。以上

は各組々で致しますが尙幾組も合併して遊嬉す
 ことがあります。即ち行進遊戯の様なものも是で
 あります。仕事々々の間には自由遊戯をさせて砂
 山を築かせなどして居ます。そして疲れた時は遊
 戯室で休ませます。普通は寢臺ですが幼稚園は日
 本と同じ様に床に直に寢床を敷いて枕なしに頭
 方心持ち高くして臥させます。元來獨乙では枕を
 高くする習慣がありました。金満家などになります
 と枕を三つも重ねると云ふ程であります。衛生上
 能くないことであるし英國あたりでは餘り高くし
 ないと云ふので此處で斯様にして居ると保姆が申
 して居りました。斯様にして幼稚園は主として家
 庭的精神を養ふ方針を取り家庭教育を補足すると
 云ふ方針を採つて居ります。

又保姆養成所に入學する人は保姆たる志願の人
 ばかりでなく立派な家庭の人でもあります。是は
 誠によい事だと思ひました。育児と云ふことは女
 子の任務として欠く可からざるもので何人と雖も
 母として立たんには是非學ばねばならぬことであ
 る。是等のことは中村教授の書物にも見えて居る

ことであつた。

以上私の見ました所に因つて之を批評して見ますならば第一に幼児八名に一人の保姆をつけるのは不經濟ではあるまいか、到底行はれぬことではあるまいか米國でも此説をなすものがありません。そして幼稚園が餘り贅澤にやるものだから廣らなないので云ふ評があります。次に家庭を模範として仕事をするのは宜しいけれども家庭的にすることは少し不自然ではあるまいか即ち兄弟でないものを兄弟と思はせたり母親でないものを母親と思はせたりするのは不自然なことではあるまいかバーデン大學の教授サルニルは幼稚園に關して云つて居るには

幼稚園の職分と家庭の職分と等しとするのは全然誤りである。又家庭の補足をなすと云ふのも至當ではない。且又幼稚園に於て知力の發達のみを以て方針とするのも誤りである。幼稚園の主とする所は意志の發達の爲めになさるべきものである。云ひ換ゆれば社界的感情の發達を計るのが幼稚園の本旨である。元來人の初の意志と云ふもの

は反射的である。此反射的な意志は追々に發達して複雑なるものとなれば或は中に滯りて容易に反射せざるものとなるものである。此意志の發達を適當にするのが幼稚園の目的である。然るに子供を母親の傍にのみ置いては意志は充分な發達をしない故に幼稚園は同年輩位の子供を一つ所に集めて意志の發達を助くる必要がある。と云つて居る此説に因つて考ふれば家庭と同一視す可きものではないのであります。

又ペスタロッチ、フレーベル會の幼稚園では幼児をして唯遊ばすことばかりでなく義務的の仕事即ち少し位はいやがる事をも爲せる様にして居るが之は少し參考とす可き所ではあるまいか。

それから伯林郊外のシャルロットンブルグには目下特種の幼稚園即ち低能兒丈を集めた幼稚園を作る可く計畫をして居ると云ふことでしたが是は見る機会がありませんでした。同所は學齡に達しても身心の發達不充分にして就學することの出來ぬもの丈を收容して特種の教育を施さうと云ふのですから成功の上は定めし參考となるだらうと思

ひます。

次には米國の様子を話致しませう。米國は獨
に比較すると非常に幼稚園の盛んな所で紐育市内
でも公立が二九三、も有る位ですから定めし私
立のも多いことであらうと存じました。米國の幼
稚園は満四才より六才迄即二個年間の教育であり
ます。それで米國の小學校令には幼稚園に關する
規定があつて其中に幼稚園の教科として左の五項
目が掲げられてあります。

一、自然研究、幼兒に動物、植物、其他の自然現
象を直接に知らしむる爲めのもの
で公園などに連れて行きます。

二、國語

(此中に昔話と對話とがあります)

三、唱歌

四、遊嬉

五、手工

右の五で尙幼稚園の上組即ち年長な一組には學
校と幼稚園との連絡を計る爲めに、話することな
く他の助力を借ることなく、各自獨立して課業を
黙行すると云ふ習慣をつけよと云ふことが教則中

に定められてあります。私の見ました幼稚園の保
姆の云ふには紐育市内に六百人の保姆があるそ
です。そして幼稚園と家庭との連絡を計るために
時々保姆は家庭を訪問して幼兒の家庭の様子、子
供の家庭にありての様子を観察し同時に子供の扱
方を母親に吹き込む様にして居ると云ふことでし
た。そして又某幼稚園では斯る訪問の代りに父兄
會を開いて居るそうですが自分は直接訪問する方
が利益があると思ふと申して居りました。斯る盛
大な勢の中に幼稚園に對して随分はげしい酷評を
する人があります。即ちケンブリッジ大學の教
授ミン、スツルベルグ(此の人は獨乙人にして米
國教育社會に勢力あるもの)は現在の幼稚園を評
して

幼稚園は今少し鍛練主義でなければならぬ。現
在の幼稚園教育は子供を甘かすこと非常である。
幼稚園は今少し威力のある所でないならばならぬ。
現在の幼稚園は人に服従して行く點がないから一
種の遊嬉場の様に考へて小學校に來てもおとなし
く課業に就く迄には多くの苦痛を感ずるのであ

る。故に幼稚園は今少し義務に服従する様な鍛練主義を採らなければならぬ。と云つて居る。又他方には次の様な批難がある。

幼稚園から来たものは却つて然らざるもの即ち家庭より直接来たものよりは發達が劣つて居る此批評に對して某大學では是は定めし幼稚園の教育を打ち消す様なことをして居るためではあるまいかと云ふので過般或實驗をして見た所が果して幼稚園出身の方が優つて居つたと云ふことでありました。私は其實驗を見ませんでしたから何んな實驗であつたか此處に申述べられません。要するに大体米國及獨國に於ては幼稚園は餘りに子供を遊ばせ過ぎると云ふ評があります。私をして云はしむれば幼稚園は單に樂しき場所たらしむるばかりでなく同時に又有益な場所としなければならぬ。子供を唯愉快にするばかりでなく又自制の精神をも養ふ必要があらうと思ふ。又歐米一体に幼稚園と云ふものは一般の教育社會から退けられて第二のものとなつて居ることは能く我國の狀況と似て居るのであります。此點に

六
關しては私は幼稚園教育に従事する人が大に大聲疾呼して幼稚園の必要を叫び幼稚園の聲をして大ならしむる必要があると存します。

幼稚園の欠點

- 一、今の幼稚園は子供の御機嫌ばかり探つて居るから子供が我儘になつていけぬ。
- 二、今の幼稚園は子供を恫好にしやうと云ふことに骨を折つて機會だにあらば何か教へ様として居るから子供は生物知りになつていけぬ。
- 三、今の幼稚園は子供を生物知りにするから従かつて早熟していけぬ。
- 四、今の幼稚園は子供の云ひたい三昧爲したい三昧に振舞はせて居るから學校へ行く様になつても一向注意がまとまらないでいけぬ。
- 五、今の幼稚園では先生が遊び相手をするものだから子供は先生と云ふものは遊びの友達だと思ふて居つていけぬ。